

## 08 ‘安全対策セミナー’

在リオデジャネイロ日本国総領事館  
警備対策官 石井 靖昭

- 最近の治安情勢
- 邦人の被害状況とその特徴
- 留意点と対策
- その他

最近の治安情勢

ブラジル全体(01～05年)

	2001	2003	2004	2005
殺人	39942	40666	38115	38180
殺人未遂	36219	35103	34598	36080
傷害	564322	619086	658485	696774
強盗	712334	856774	873700	903298
窃盗	1661999	2125294	2050070	2022896

ブラジル全体(01～05年)

日本の

殺人 約 31倍

強盗 約198倍

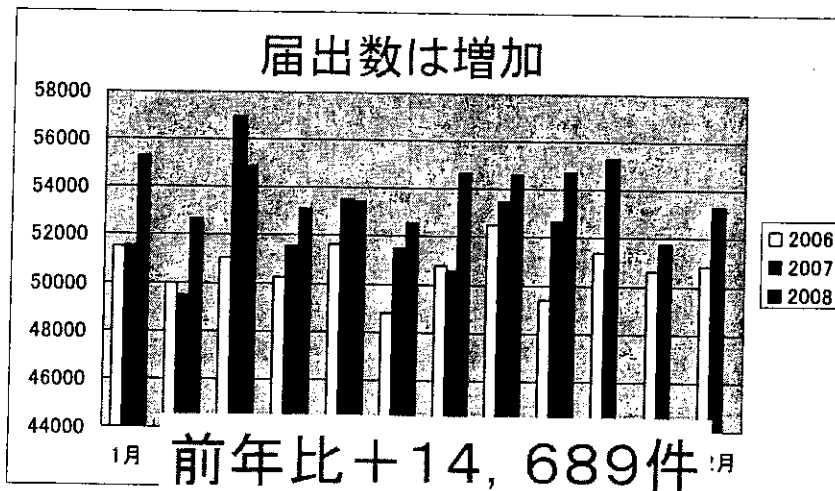
窃盗 約1.4倍

## 人口10万人当たりの殺人率では

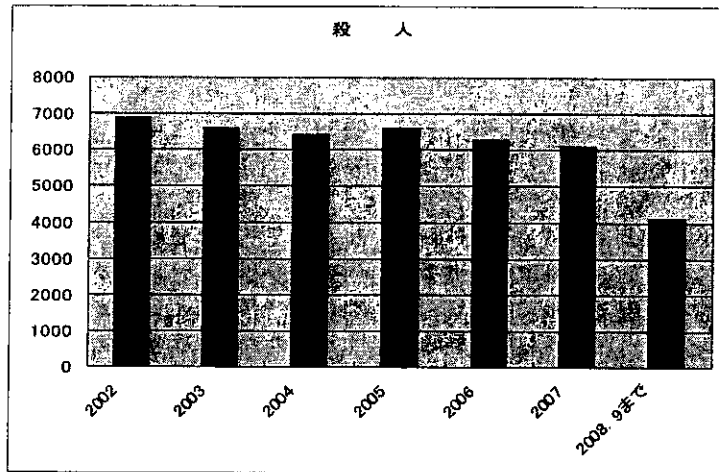
- ワースト1位 エスピリット・サント州  
41.6人
- 2位 リオ・デ・ジャネイロ州  
35人
- 3位 サンパウロ州  
11.7人

日本は 0.9人

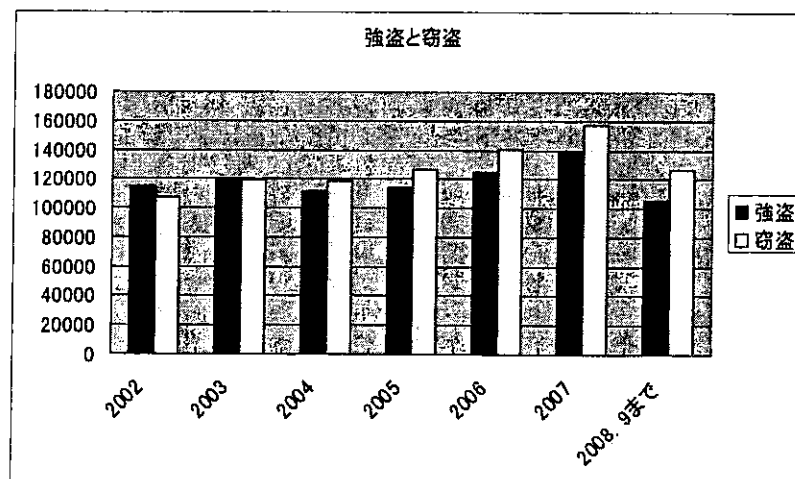
## リオ州の治安情勢



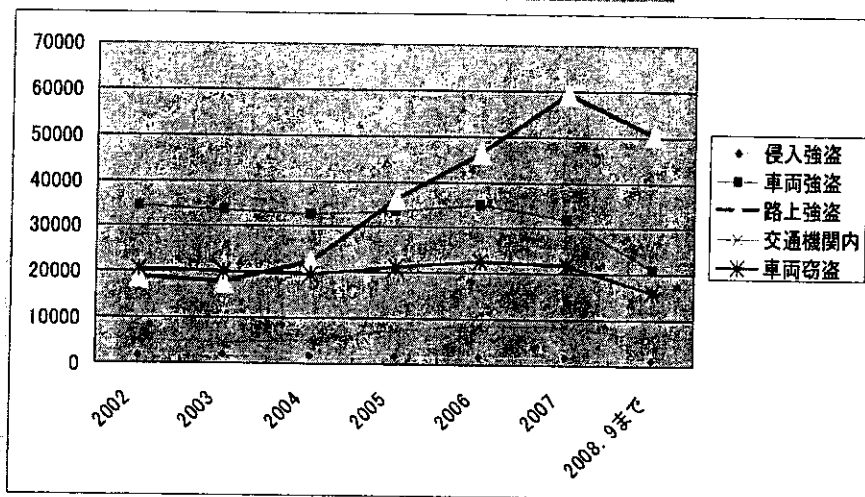
## 殺人(02~08.9月)



## 強盗と窃盗



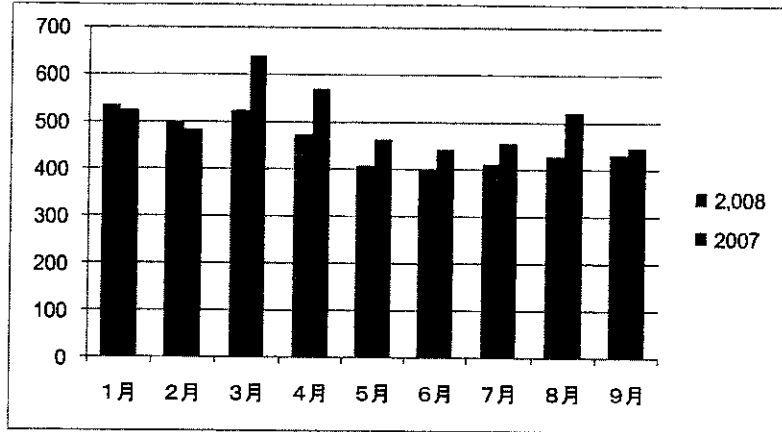
## 強盗の手口別と



## 08年中月別の発生状況

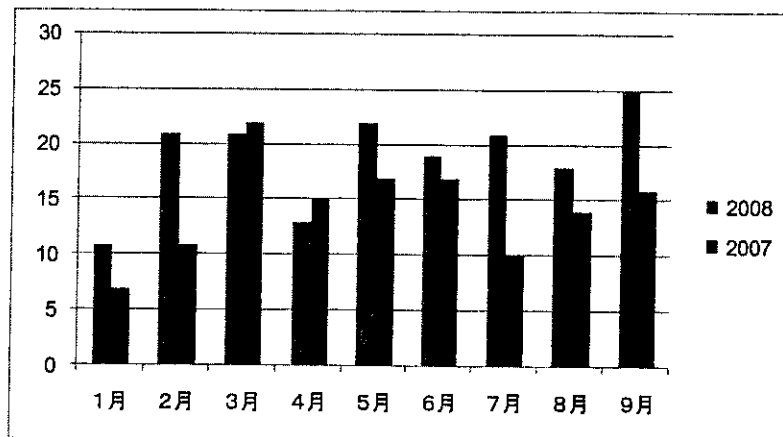
# 殺人

前年同期比 -9.3%



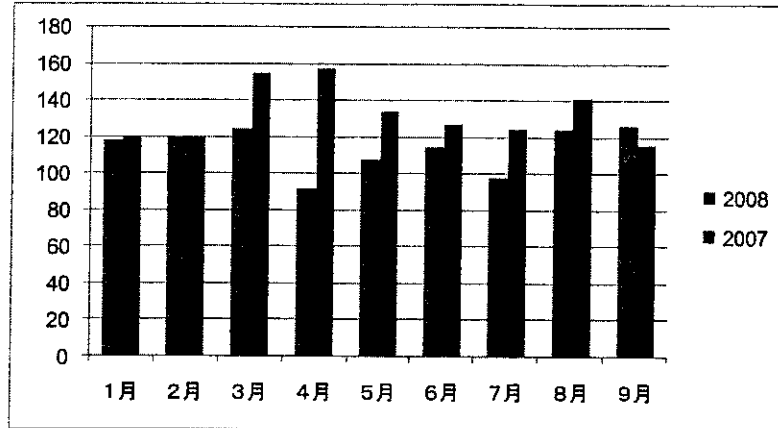
# 強盗殺人

+32.6%



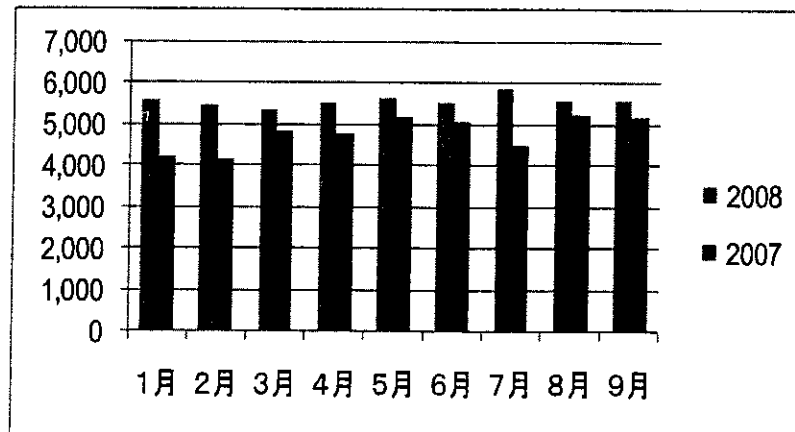
## 侵入強盜

-14.2%



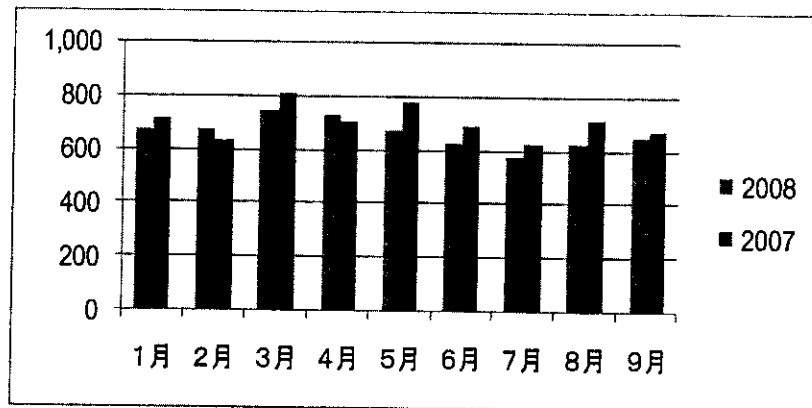
## 路上強盜

+16.1%



## 金融機関内強盗

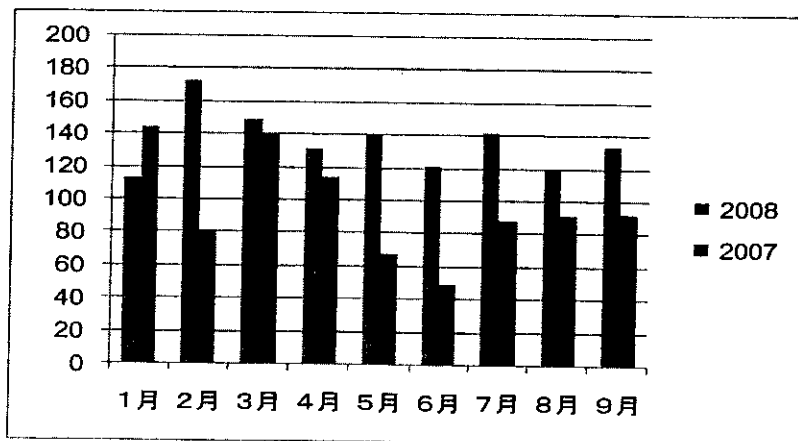
-6.03%



## 強盗に発展する犯罪(要注意！)

恐喝

+40.8%

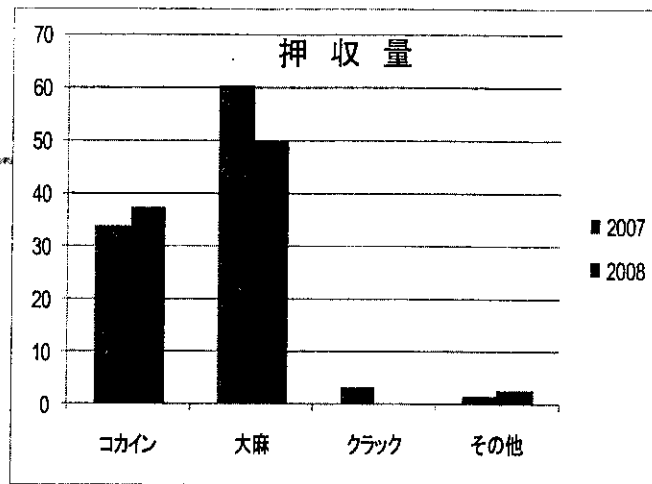


## 犯罪発生状況(08年9月末)

	2007.9	2008.9	増 減
殺人	46	32	-14
強盗殺人	1	2	1
侵入強盗	82	53	-29
路上強盗	2598	3103	505
金融機関強盗	0	2	2
恐喝	95	155	60

## 警察による麻薬の大量押収

- 大麻 約13,000kg
- コカイン 約200kg
- その他
  - Haxixe 13.7kg
  - MDMA 100g など



※ サンパウロ州をはじめクラックの押収が増加  
 その理由は、クラックの消費急増の原因として安いこと、効果が強いこと、密売ルート of 拡大などが挙げられている。

- 麻薬組織の資金源不足
- その結果、街頭での犯罪の増加？が懸念

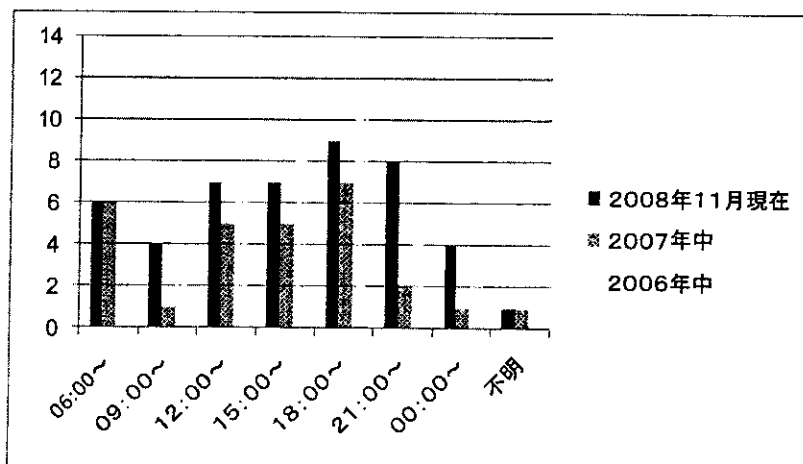
## 邦人被害の状況

41件45人が被害

(11月末現在)

内 訳  
強盗 18件  
窃盗 25件  
その他 2件  
(男27人、女18人)

## 時間帯別被害発生状況



## 邦人被害例 その1

- AM5:30(被害者男性)  
コパカバーナ海岸のホテルに滞在、ホテル前のベンチで休憩中、ナイフを所持した男に所持品を強取
- PM4:31(被害者女性)  
セントロ地区を歩行中、5人組に取り囲まれ、手拳、足蹴りのうえ所持品を強取  
※所持品の呈示を拒んだため、負傷(軽傷)

## 邦人被害例 その2

- PM11:00(被害者男性)  
コパカバーナ地区を歩行中、男1人に所持品を要求されたが、これに抵抗したため、ナイフで斬りつけられ、手を負傷、所持品等強奪
- 1月2日AM11:00(被害者男性)  
フラメンゴ海岸からボタフォゴに向かう遊歩道を2人で散歩中、後方から近づいてきた上半身裸の一見して浮浪者風の男が背後から近づき、いきなりナイフを突きつけられた。  
男は被害者の所持品をまさぐり、ズボンのポケットから身分証明書に挟んだ現金40レアルを強取した。  
なお、被害者は終始抵抗することなく、最後に身分証明書の返還を求めたところ、犯人はこれに応じた。

## 特 徴 点

---

- 45件中20件がコパカバーナで発生。  
うち13件が強盗被害。

さらに9件はAv.アトランチカで被害。  
犯人はナイフ所持が多い

※早朝のAv.アトランチカ  
また、日中のセントロも注意を！

## 過去の状況

---

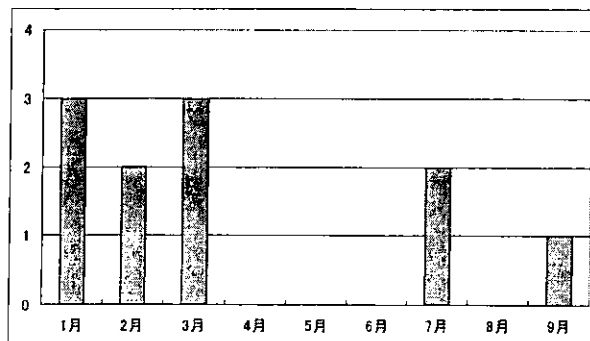
- 2007年～28件28人(強盗のみ)
- 2006年～38件45人(うち強盗25件)
- 2005年～40件45人(うち強盗25件)
- 2004年～39件45人(うち強盗20件)
- 2003年～43件50人(うち強盗13件)

## 流れ弾による被害の状況

- 2008年9月までに計178件の被害
- 死亡11件、負傷167件
- 前年同期と比べ減少(-23.9%)
- しかし、発生場所の7割はリオ市内での発生

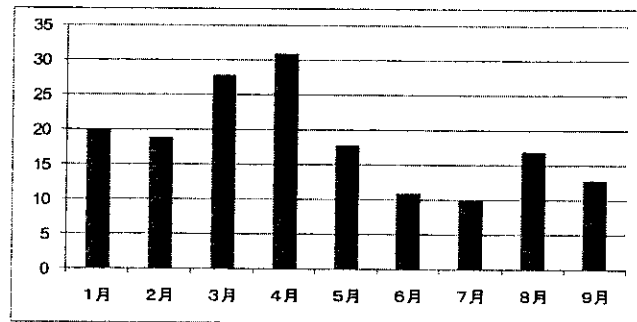
## 殺人に占める銃器使用率と流れ弾被害

- 殺人4,139件中の2,931件(70.8%)が銃器使用
- この内、11件(0.4%)が流れ弾被害



## 傷害に占める銃器使用率と流れ弾被害

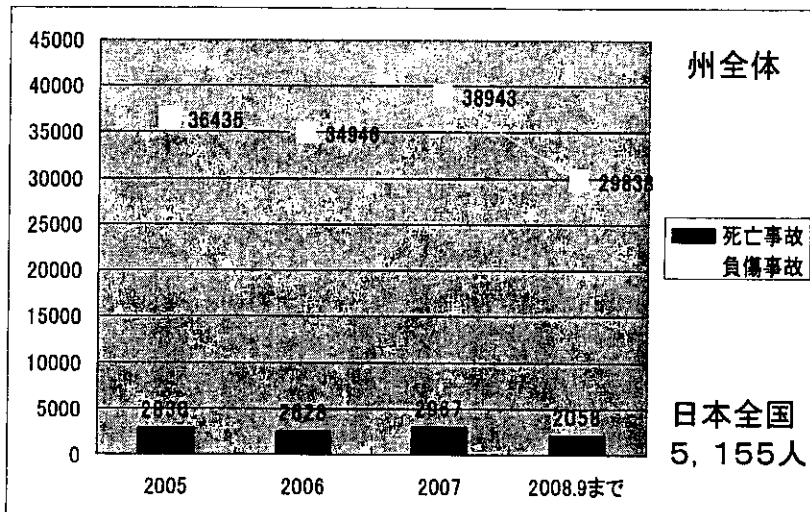
- 傷害53,694件の1,369件(2.5%)が銃器使用
- この内167件(12.2%)が流れ弾被害



## ただ、この時期は別

- 2009年1月1日
  - コパカバーナで5名が負傷
  - ・Av. アトランチカ
  - シケイ・カンホ通りの角
  - サンタ・クラ通りの角
  
- 昨年1月1日も6名が負傷

## 交通死亡事故と負傷者の現状



## まず、はじめに

1. 交通事故の発生原因を究明する考え方の中に過失相殺という概念はない。  
従って、警察官は交通事故原因を捜査するということを考えていない。
2. 相手側は任意保険に加入していない場合が多い。

## 基本事項 1

- 現場に両当事者がいる場合

軍警に届出

通報先	190
-----	-----

- 当事者の一方の場合

軍警か市警察に届出

通報先	190
	08000211532

## 基本事項 2

- 事故発生(加害者)の際は、第一に負傷者を救護することは、人道的に当然のことです。

但し、軽く接触させて(いわゆる当たり屋)強盗を働く事例もあるので注意して下さい。

- 事故を起こしたら、軽重に関わらず、警察に届出たうえ、必ず保険会社へ連絡(通常24時間受け付ける電話が存在する)し、指示を受けて下さい。

このためにも、運転する際は、携帯電話の所持及び自己が契約している保険会社の連絡先メモを常に携帯しておく事をお勧めします。

## 保険請求に際して

- 保険会社の保険金請求書
- イデンチダーチのコピー
- 運転免許証のコピー
- 事故証明書(警察発行)

但し、保険会社により若干差異あり

- 自動車登録証

以上が一般的に必要な書類ですが、事前に自分の保険担当者などに確認することをお勧めします。

## 加えて

- 保険請求はあくまで金銭的な補償を得る手続き、現場でどのような対応が必要か・・・

疑似誘拐やケンカなどを想定し、被害が拡大しないようにすることを第一に。

## そのためには

---

- 最悪の場合、後日事情の分かる者等に同行してもらおうことも、一つの方法では  
その際は、事前に警察に申請した上で、両当事者が一緒に届出する必要有り
- このようなことから、ポルトガル語の苦手な方は、特に、日本語対応可能な保険ブローカーを選ぶことも必要ではないでしょうか

## その他の留意点

---

- 車両の点検は定期的に行い、異常があればすぐ整備して、おくことが大切。
- 運行前点検を常に行うように習慣付ける。
- 保険は、車両の盗難や事故などをカバーするものであるため、保障内容等を確認の上契約をし、安心して運転できる状況にしておく。
- 万一の事故に備え、緊急時に必要と思われる事項をポルトガル語などで記載したメモを持つことも有効。

最低限自分の保険契約内容の確認を！